

A 1 0 初級 (実習あり)	<h2 style="margin: 0;">知財契約における問題と対応実務</h2> <p style="margin: 5px 0 0 0;">契約における主な知的財産規定の方法 目的別契約事例、契約後のトラブル対応</p>
講師	倉永 宏 (日本パテントデータサービス㈱知財研修部 部長、元 NTT 知的財産センター所長)
日程	東京会場
	7月23日(火)
	大阪会場
	2020年1月22日(水)
時間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	東京会場：24名 大阪会場：20名 (先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	知的財産部門の実務者、研究開発者
内 容	
<p>オープンイノベーションに代表されるように、最近では、他社と共同で製品開発するケースが増え、知的財産に関わる契約がますます重要になっています。</p> <p>本セミナーでは、契約における知的財産に関する規定について、目的に応じた規定方法の基本、典型的な契約例を学ぶと共に、ある契約に基づいて実務上トラブルが生じた時に、何を考えどのように対応すべきかを演習を通して身につけます。</p>	
プログラム	
<p>1. 知財契約の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約とは？契約の成立 ・ 知的財産が関係する契約 ・ 知的財産について契約で決めること <p>2. 知的財産契約で規定すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例による検討(演習) ・ 営業秘密(ノウハウ)の扱い ・ 特許の扱い ・ 著作権の扱い ・ 第三者権利の利用、侵害回避、保証責任 	<p>3. 知財契約条文事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 守秘義務契約 ・ 共同研究契約 ・ 製造委託契約 ・ 共同出願覚書(企業対企業、企業対大学) ・ ライセンス契約 <p>4. トラブルが起きた時の対応(演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トラブル事例 ・ グループディスカッション <p>5. まとめ</p>

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申し出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。